



平成 24 年 8 月 9 日

各 位

株式会社 福山コンサルタント
代表取締役社長 山本 洋一
(JASDAQ コード番号 9608)
問合せ先 広報担当専務取締役 柴田 貴徳
(事務取扱責任者 高崎 愛一 TEL. 092-471-0211)

通期連結業績予想と実績との差異および特別損失の発生に関するお知らせ

平成 23 年 8 月 10 日公表の連結業績予想と、本日開示しました決算短信記載の平成 24 年 6 月期実績の差異についてお知らせいたします。また、決算処理過程で特別損失を計上することとしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 6 月期通期（平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）の連結業績予想との差異
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
業績予想 (A)	5,700	200	200	80	18.86
実績 (B)	5,392	73	74	△132	△31.21
増減額 (B-A)	△308	△127	△126	△212	—
増減率	△5.4%	△63.5%	△63.0%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 6 月期)	5,458	175	178	53	12.55

2. 通期連結業績予想の差異の理由

当社グループの属する建設コンサルタント業界においては、震災被災地における復旧・復興関連業務の発注は進んでいるものの、公共事業全体では予算の削減等を受けて、厳しい受注状況が続いています。

平成23年4月に株式を取得した、環境マネジメント分野を事業領域とする連結子会社の受注低迷の影響を受けて連結の受注高および売上高は業績予想を下回る結果となりました。

そのため、連結の収益面においても営業利益、経常利益ともに業績予想を下回る結果となり、加えて、倉庫として利用していた社屋の老朽化に伴う減損額（61百万円）を特別損失に計上したことにより、当期純利益についても業績予想を下回る結果となりました。

3. 特別損失の内容と発生理由

連結については、平成24年6月期第4四半期において、前述のとおり、固定資産の減損額61百万円と、連結子会社に対するのれんの一括消却額9百万円、あわせて70百万円を特別損失に計上します。

個別については、平成24年6月期第4四半期において、前述のとおり、固定資産の減損額61百万円と、連結子会社向け貸付金に対する貸倒引当金繰入額150百万円を特別損失に計上します。

以 上